

喬木村リニア中央新幹線対策委員会〔第16回〕会議録

1. 会議名 喬木村リニア中央新幹線対策委員会〔第16回〕

2. 開催日時 令和6年7月2日（火）19時00分から20時10分

3. 開催場所 喬木村福祉センター

4. 出席者

【喬木村リニア中央新幹線対策委員】

後藤章人、下平貢、佐藤文彦、福澤一成、中森高茂、小川原美智穂、下岡幸文、矢澤治俊、仲田和文、片岡昭彦、松澤正文、筒井正明、丸山貢弘、大平敏一、松浦加代子、野牧睦仁、仲田久志、奥村孝、吉川和成、米山初仁、下岡和美、田中邦夫、竹村優太、宮崎剛史、昼神浩、池田隆秀、井原梓、（欠席：原寛司）

【臨時参集】

河合一夫、新井福美、池田好彦、佐藤元一、（欠席：大平和孝、松澤桂二）

【東海旅客鉄道株式会社】杉浦部長、小池所長、鈴木担当課長、林係長、飯塚、彦坂、浦田、干場

【天竜川 JV】黒澤所長、井上管理技術者

【阿島北 JV】後藤所長

【長野県リニア整備推進事務所】大島調整課長、井原課長補佐

【喬木村役場】市瀬村長、村澤副村長、井澤高速交通対策課長、吉川

5. 報告・協議事項

（1）報告事項（公開）

- ①村内リニア関連事業の進捗状況等について
- ②環境測定（騒音・振動）の結果について
- ③阿島北高架橋ほか新設工事について
- ④大気環境測定者の速報値について
- ⑤地域からのご意見等について
- ⑥休日夜間の問合せ先について

（2）協議事項（公開）

- ①リニア実験線走行試験の周知について

6. 傍聴人

信濃毎日新聞社、南信州新聞社

7. 会議録

1 開会

2 委員紹介

- ・ 前回より改選となった委員を紹介
- ・ 臨時参集者の紹介

3 あいさつ

【仲田委員長】

皆さんこんばんは。委員長を務めております、阿島区長の仲田です。よろしくお願いします。
本日は実りある話ができますようご協力をお願いいたします。

【市瀬村長】

こんばんは。お仕事終わりの大変お疲れの中、本日は中央新幹線対策委員会にご参集いただきましてありがとうございます。

既に報道にありました通り、中央新幹線につきましては、早くても 2034 年まで伸びるといった報道がされているところです。そんな中で喬木村の工事はどうかといった問い合わせや、ご懸念の声を伺っている中、先日 6 月 23 日、24 日に、北地区また全村を対象とした説明会の中で、これから工事が進んでまいります阿島北高架橋ほか新設工事について、工期が早くても 3 年伸びるという話を JR 東海からいただいたところであります。

天竜川高架橋ほか新設工事の方では、天竜川に橋脚も建設され、竜東一貫道路を挟んで高架橋が建設され、景色が変わっている状況を皆さん目にしている所かと思います。ただ、天竜川工区は 2026 年度末工期に間に合うのかですとか、喬木村にとっては関心の高いリニアガイドウェイヤード、こちらはいつから活用されていつお返しいただけるのか、また高架橋が建設され今後周辺の住民の皆様の補償の話ですとか、昨今話題となっている井戸枯れの話ですとか、騒音の問題ですとか、皆さん心の中に思っていることがあると思っています。今日は JR 東海から杉浦長野県担当部長はじめ大勢の方がお見えになっていますので、ぜひ質問をお寄せいただきたいと思います。

静岡県では鈴木康友知事が就任されまして、三遠南信サミットでは浜松市長時代から厚意にさせていただいております、当時の話の中でもリニアは早期に、とも仰っておりましたので、これから仕事は順調に進むのかなとも思っておりますが、まずは喬木村の仕事について、対策委員の皆さんで地元とも出来ることを協力し合って、JR 東海にお願いすべき事はしっかりお願いするというスタンスで、この会を大切にしたいと思っています。

このあと、JR 東海、村からの説明をお聞きいただき、忌憚のないご意見をお寄せいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

【杉浦長野県担当部長】

皆様こんばんは。JR 東海中央新幹線で、長野県の担当部長を 6 月 21 日から担当することになりました、杉浦楨信と申します。本日はご多忙のところ、リニア対策委員会において、我々に説明の時間をいただき誠にありがとうございます。また、皆様におかれましては、このリニア中央新幹線建設事業にご理解ご協力をいただきまして心より御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、昨今リニアに関する様々なニュースがとびかっておりまして、早期開通に期待されている方々へは大変なご心配をお掛けしている状況であると認識しております。この場をお借りして、もう少し丁寧な説明をさせていただきたいと思えます。

まず開業時期についてでございますが、今年 3 月に開催された「第 2 回リニア中央新幹線静岡工区モニタリング会議」にて、JR 東海から 3 つの説明を行っております。1 つ目ですが、南アルプストンネル静岡工区は 2027 年の開業を目指して、2017 年 11 月に工事契約を締結したこと、2 つ目は、トンネル掘削に着手できないまま契約締結から既に 6 年半が経過したこと、3 つ目に、不確実性を伴うトンネル工事の中でも極めて難易度の高い静岡工区の工事の遅れが、品川・名古屋間の開業時期の遅れに直結している事を、改めて説明させていただきました。これらの内容を受けて、開業は 2034 年以降にずれ込むと報道等がなされたということでございます。当社としましては、静岡工区の日も早い着手に向けて、引続き、静岡県知事をはじめ関係自治体の皆様、関係地区の皆様のご理解ご協力を得られるよう、コミュニケーションを大切に、真摯に取り組んで参るというところでございます。

一方、長野県内については昨年 12 月に品川・名古屋間の建設に必要な認可が揃い、全ての工事の実施が可能になったことから、静岡工区の状況を踏まえ、品川・名古屋間の各工区の進捗を確認しつつ、全体にわたって工事の進め方を検討しているところです。

今後契約を行う飯田市の座光寺高架橋ほか新設工事では、工期を約 70 ヶ月と設定したことで、工事完了は 2031 年 3 月になる見込でございます。また、先月末に喬木村・豊丘村で工事説明会をさせていただいた、阿島北工区については、令和 3 年 4 月に契約締結後、トンネルや高架橋工事の施工計画の策定や、喬木村・豊丘村の皆様が安心していただける工事車両ルートを定めることの検討等に時間を要したため、本日までに 3 年以上の月日が経過してしまったことから、当初の工期を見直す事とし、現段階での完了時期は令和 11 年 3 月を見込んでおります。

中央新幹線の開業事業のために、大きな決断により土地を譲っていただいた地権者の皆様、ご移転をいただいた皆様、様々なご協力をいただいた喬木村の皆様には、工期の延伸および開業の遅れは皆様の期待を裏切る形になったと思っており、大変に申し訳ないことと感じております。我々としましては、静岡県を含め、もちろん、喬木村についても、地域の皆様としっかりコミュニケーションを取って、事業を着実に前に進めていきたいと考えております。皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 協議報告事項

(1) 報告事項（公開）

- ①村内リニア関連事業の進捗状況等について
- ②環境測定（騒音・振動）の結果について

- ③阿島北高架橋ほか新設工事について
- ④大気環境測定者の速報値について
- ⑤地域からのご意見等について
- ⑥休日夜間の問合せ先について

(2) 協議事項（公開）

- ①リニア実験線走行試験の周知について

5 質疑応答

【質問者】 堰下ガイドウェイの関係で質問いたします。

- ・土地賃貸借の契約は2018年から2027年3月までとなっています。説明の中では工期が2029年3月との話がありました。工期にはガイドウェイの敷設は含まれていないと思いますが、敷設を考えるともう少し長くなるものと思います。契約書には1年は延長できるとなっていますが、この場合、契約は延長の延長でいくのか、再契約とするのか、地権者への説明はどうするのかお聞きしたい。
- ・当時の説明では、堰下は製作・保管との話でした。現在は下市田で製作しているので、堰下は保管になるものと考えています。当時は先が長く説明はありませんでしたが、本線ができ敷設する時に、下市田の保管と堰下の保管をどう考えているかお聞きしたい。
- ・保管場所から敷設するにはどこから搬入するのか、またその時期はいつ頃になりますか。
- ・現在は橋脚の建設の説明をいただいているが、今後どんな工事が予定されているのか、生活に影響するためお聞きしたい。

【JR東海】

- ・借地契約について、村とも協議している段階です。現時点ではいつまで使用させていただくかは、工事計画を精査している状況で決まっていますが、なるべく早く考え方をまとめ、地権者の皆様へも説明をさせていただきたいと考えています。
- ・ヤードの関係は、下市田では製作と保管を行っています。堰下は、造成工事の進捗を考えますと、保管だけになると考えています。下市田の保管が一杯になったら、堰下への保管を開始することになりますが、現時点では時期は不明であるため、精査し決まった段階で説明させていただきたいと考えています。
- ・工事の順序については、橋脚、桁、環境対策工、その後にガイドウェイの敷設となります。ガイドウェイをどこから入れるかについては、今検討しているところですが、天竜工区のほか阿島北工区の進捗具合も見らる中で、決まった段階で別途説明をさせていただきたい。

【質問者】

- ・計画として、いつ頃なら分かるか、また、契約が終了する１年以上前には地権者に説明をした方が良くと思います。敷設がいつごろ始まるのかなど、いつ頃になれば発表できそうかなどお聞きしたい。

【ＪＲ東海】

- ・ご心配をおかけして申し訳ございません。敷設の時期について、工事計画を精査中なので、現時点で申し上げることはできませんが、契約については早く処理しなければならないと考えています。村と協議しているところであるため、まとめ次第、ご説明させていただきたいと思います。

【質問者】 資料 50 水資源の関係で質問いたします。

- ・井戸枯れが現に岐阜県でも起きているところであるが、当村の工事において井戸枯れが起きないように何か対策を考えているか、また起きてしまった時に、早急にどんな対応をされるのか。生活用水や農業用水に利用しており、井戸が枯れて１週間後に対応しますでは厳しい。即対応いただく必要があると考えます。
- ・阿島トンネルの湧水については、どちらへ排出されるのか。壬生沢川へ排水するのであれば、農業用水で利用しており安全性を確保する必要がある。湧水の処理の仕方、水質含めた安全性について、現段階でどのようなお考えかお聞きします。

【ＪＲ東海】

- ・井戸枯れについてですが、喬木村の工事の大部分は高架橋区間であり、懸念されるのは基礎の部分になるかと思います。基礎は、深さが約５～１０ｍ程度であり、数十ｍ間隔での掘削となるため、地下の水みちを止める可能性は低いと考えていますが、浅井戸を付近で使用しているとその可能性が無い訳ではないため、資料 50 の黄色やピンク色の点の箇所では井戸の確認をしながら、地下水位に変化がないか注視して工事を進めてまいりたい。
- ・阿島トンネルは地上から深いところで約 30ｍ下を貫通するが、地下水位はトンネルの下であるため、湧水量は多くないと考えています。出てきた湧水は、トンネル東側へ集め、濁水処理を行い、きれいな水にしてから壬生沢川に排水します。
- ・今回の工事での水枯れの可能性は低いと考えていますが、万一起きてしまった際は、応急処置として給水車や上水道への接続を考えています。処置後に工事のめどが立った状態でも井戸水が戻ってこない状況であれば、恒久処置として具体的にどうするのかは、権利者や関係者の皆様と協議して対応を考えてまいります。

6 その他

7 閉会